



2021年12月1日(水)

第23巻 第6号

通巻第971号

http://www.oamirotary.com
E-mail rc@oamirotary.com



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

本日の例会

点鐘 会長 小倉 光夫
唱和 四つのテスト
ソング 奉仕の理想
会長挨拶 会長 小倉 光夫
幹事報告 幹事 石田 英世
プログラム

- 奨学金授与式 ニルシカ 様
- 12月誕生祝い
長谷川正行会員、小倉光夫会員
四之宮由己会員
- 会員卓話 四之宮 由己 会員
「浦和RCでの挨拶」

ニコニコBOX

無し

例会日	11月24日	11月10日
会員数	30	30
出席	20	20
欠席	10	10
MU	0	0
免除	3	3
出席率	76.67	76.67

■クラブ創立：2000年1月13日
■例会日：第1・第3水曜日(12:30~13:30)
■例会場：中部コミュニティセンター
TEL0475-73-3337 FAX73-4360
■事務所：〒299-3251
大網白里市大網450-6 ユアサビル2階
TEL0475-70-0200 FAX70-0222
■会長：小倉 光夫 幹事：石田 英世
■広報・公共イメージ向上委員会
委員長 大越 将司・会報担当 石田 英世

会長挨拶

小倉 光夫 会長



みなさんこんにちは。
本日は小倉・石田年度となってから初めての食事を伴う例会となりました。マスクを外した顔を久しぶりに見た方も多いのではないのでしょうか？ 早く、脱マスク例会にしたいものです。さて、16日の情報研究会、21日の3委員会合同セミナー、会場に行かれた方、またズームにて視聴された方、大変お疲れさまでした。

非常に為になるお話を聞くことが出来ました。今後、動画にアップされる事もあると思いますので詳細については割愛しますが、今後もこういった視聴の形が残ってくると思います。石田幹事をはじめ次年度会長幹事、大越委員長と相談し1月よりデジタル講習会を行って行きたいと思っております。詳細は決まり次第ご報告致しますが、外部から呼んでの講習ではなく、クラブ協議会として月1回程度行いたいと思います。

前回お話した、子ども食堂と大網ロータリークラブ広報チラシですが、明日皆様のお手元に届くそうです。知り合いの方から「見たよ」の一言を、新規会員獲得のきっかけとしていきましょう。私も反響を楽しみにしています。

最後になりますが、本日は古山先生に来て頂きました。卓話日が変更になるなど大変ご迷惑をお掛け致しました。いつも大量の資料作成ありがとうございます。当クラブでも関係の深い「十枝雄三と両総用水」というテーマです。私も非常に楽しみにしております。どうぞよろしくお願い致します。

寄付者表彰



マルチプル PHF 4回 関谷清一会員



米山功労賞 9回 板倉達夫会員

11/16(火)開催 情報研究会

会場：国民宿舎 サンライズ九十九里



11/21(日)開催 三委員会合同セミナー

オンライン参加：小倉会長、石田幹事



11/25(木) 子ども食堂折込広告

「ロータリークラブ」って何ですか？

1905年にアメリカ合衆国シカゴの弁護士上層層の中核が創立した非営利の組織で、現在200以上の国・地域で77万5000以上の会員が参加しています。多種多様な職業を持つ会員が集まり、地域社会への奉仕活動を行う国際的な奉仕団体であり、職業倫理を重んじる職業人の集まりです。

ロータリーのビジョン声明
「私たちがロータリーは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な世界を創るために、人びとが手を携えて行動する世界を目指しています。」

ご挨拶

大網ロータリークラブ会長 小倉光夫
日本にロータリーの精神が受け継がれてからすでに100周年を迎え、大網ロータリークラブは創立より地域社会への奉仕として様々な活動をして参りました。

大網ロータリークラブの歴史

2011年にクラブが発足し、昨年(2020年)20周年を迎えました。大網白里市の企業経営者を中心に、現在30名のロータリアンが活動しています。

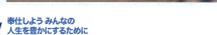


取々大網ロータリークラブは「子ども食堂がきっかけ」に共感し、2018年に支援を開始してから今年で節目となります。このコロナ禍においても支援の手を緩めることなく行っている社会福祉法人協会の活動に賛賞出来る事を光栄と思っております。共に、継続する事の大切さを改めて心に刻むものであります。

今回の子ども食堂の開催の周知と共に、多くの市民の方々に大網ロータリークラブを知って頂き、更なる支援の輪が広がる機会になれば幸いです。

国際奉仕活動

社会奉仕活動



11/27(土) 開催 子ども食堂

大越会員より無事子ども食堂を終えることが出来ました。ありがとうございます。当日は新聞折込の効果もあって、お弁当は15分程で無くなり、食材も30分足らずで完配となりました。※18世帯中7世帯が「新聞折込を見た」とのこと、ロータリークラブのPRになれば幸いです。



古山 豊 先生

「孤高の哲人 十枝雄三と両総用水」

— 十枝翁の人生概観 —

十枝雄三は、明治6年(1873)年11月21日、現在の東金市押堀に生まれました。

今年は生誕148年、没後65年になります。両総用排水事業など偉大な功績を残し、昭和31年6月、大網白里町は大網白里町(市)名誉町民(第1号)の称号を贈り、氏の功労を讃えました。町民、県民の誇りであることは勿論のこと、国からも高い評価と尊崇された人物の一人であったことは申すまでもありません。



十枝 雄三

しかし今日、「孤高の哲人(筆者が付した造語)十枝雄三」という名を知る人は少なくなり、「両総用水」という言葉さえ人々の口に上ることがなくなってきたことは非常に残念なことです。中国の箴言に「井戸を掘った人のことを忘れるな」という言葉があるのですが、地球に生きる動植物は水無くして生命を維持することは出来ませんので、この言葉は金科玉条として今日でも通用することを私達も考えて、再認識すべきではないかと思えます。

ところが現在、私達の生活は蛇口をひねれば水は出る。スイッチを押せば灯りが付くという便利な生活に慣れ過ぎ、いざ災害が発生すると停電・断水等でパニック状態に陥る。にも拘わらず、日常生活では水への認識は極めて希薄と言わざるをえません。

今から遡ること80年程前の昭和8、9、15年、九十九里浜沿岸一帯は、未曾有の大早魃に襲われました。しかも田植えから稲の生育期という最も大切な時期でした。特に山武、長生地域の早魃被害は甚大で農民を苦しめました。田圃はひび割れホコリが立つような状況で、寺社では雨乞いの祈禱が行われ、榛名山より雷神を迎え、笛や太鼓を打ち鳴らしながら水田を回って加持祈禱が行われた地域もあり、更に秋になっても収穫が無く娘の身売り話も聞かれるほどであったと記録に残されています。

このような状況下、福岡村(現大網白里市の一部)村長となった豪農十枝雄三は、南白亀川の改修、真亀川、小中川、小中溜池の築造等に取り組みました。さらに昭和15年県会議員となった時、冠水に悩まされつづけていた佐原選出の坂本齊一議員との出会いが、両総用排水事業推進の発端となりました。排水の坂本、用水の十枝という両名の目的が県議会を動かし、国をも動かし農民救済という目的は、利根川から一宮川まで約80kmに及ぶ不可能に近い遠大な導水を実現させました。

江戸初期からの豪農・名主十枝家でしたが、十枝は私財を投じて苦しむ農民のために席の温まる暇もなく東奔西走した結果、母屋は人手に渡り長屋門を改造しての生活となりました。次女の澄子さんによると、「長屋門で生活し、箆を敷いたその上で食事を取った。」と語っています。献身的な政治生活から晩年は「井戸と垣根(井戸垣議員)しか残らない十枝家となってしまいました。両総用水通水により何千何万という農民を救済した功績は、金銭では計り得ない大きなものを後世に残してくれました。



「十枝の森」森の入口には十枝雄三頌徳碑があります。



公平水路橋(東金市家之子)205m